

グローバル表現科

文部科学省は、各学校又は当該学校が設置されている地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、当該学校又は当該地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要等が認められる場合に、特別の教育課程を編成して教育を実施することができる学校を指定しています。

三浦市では、三崎小学校が特教育課程特例校の指定を受け、「国語科」や「生活科」、「総合的な学習の時間」の授業時間を充て、令和5年度から「グローバル表現科」の授業を展開しています。

グローバル表現科新設の理由

三浦市はオーストラリアのウォーナンブール市と姉妹都市提携を結んでおり、その交流が令和4年度で30周年を迎えました。ウォーナンブール市からはALTを招聘して、市内の小・中学校での授業支援を続けています。

三崎小学校は市内で最も伝統のある学校です。開校から150年を数え、ユネスコの無形文化遺産に登録された伝統行事チャッキラコをはじめ、伝統ある文化が三崎には豊富に存在します。そんな三崎小学校に通う子どもたちが、グローバルな視点をもってふるさとのまちづくり等に参画し、自己実現ができるよう、特別の教育課程を編成して教育を実施していきたいと考えています。

グローバル化や多様化が急速に進む現代社会において、郷土三崎を愛し、多種多様な文化や考えを尊重した豊かな国際感覚を身につけた児童の育成を目指します。

グローバル表現科の概要

第1～6学年においてグローバル表現科の授業を行い、グローバル化・多様化が進む現代において、様々な人と関わりながら、よりよく生きるためにはどうしたらよいかという問いについて、自己の考えをもって行動できる児童を育成します。外国人等との交流の機会を積極的に活用し、日本の文化や言語・考え方との違いについて、体験を通して比較し、考えたことを表現する学習を行います。